

あっと at どろっぶ

2021年
4月最終号
vol.164

港北区地域子育て支援拠点どろっぶは、主に0歳から未就学児・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。
http://www.kohoku-drop.jp/ Check our website for the schedule in English
Instagram更新してます！大倉山どろっぶ @drop_ookurayama 綱島サテライト @drop_tsunashima
monaka & MOMO (ポランティア) @monakamomo_drop



春！ どんな時でも花は咲く！！ 2021年度を迎えるにあたって

今年、港北区3大祭り(「梅祭り」「桜まつり」「小机城址まつり)」が中止になりました。どろっぶが開所以来、毎年楽しみに参加していたイベントで、残念な気持ちですが、道々に咲く花々が一斉に開花し街の至るところに植物の命を感じています。

東日本大震災からちょうど10年。多くの命が失われた悲しみ、忘れることはできない喪失体験を抱え今日に至っています。

新型コロナウイルス感染でも、たくさんの経験、体験、交流も失われました。この1年間、誰もが仕事や家族、子育て、地域活動や介護のあり方など、日常の過ごし方、生き方そのものを見つめ直した期間だったでしょう。

生まれてきた命を抱っこしている親、子どもたちの変わらない笑顔、健やかな寝顔、全身で泣き主張する力、そんな「今を生きる姿」にどんなにか励まされてきたことでしょうか。

新年度転換期の春を迎えるにあたり、どろっぶでも、この時代にふさわしい拠点としてのあり方を議論してきました。

その1つに大事にしてきた情報源であるこの「atどろっぶ」を今号をもって休刊することにしました。区内各所および町内会経由で班単位の回覧にご協力を頂き、届けていた

いたことに心より御礼申し上げます。「atどろっぶ」巻頭は、今私たちが考えていること・発信したいことの思いの丈を精一杯、込めてきました。今後は季節ごとの地域の方への発信として残していく予定です。

どんな時代にあっても、「子どもがまんなか みんなで子育て」のコンセプトは変わりません。今後も果敢に必要なものを必要とする人たちと必要な時に、拠点機能をフル稼働させながら、子どもと過ごすこの港北区(地域)をより豊かにすることに取り組んでいきたいと思ひます。

どろっぶ・どろっぶサテライト
スタッフ一同より



2021年度定期開催プログラム

- 土曜日両親教室・オンライン両親教室【プレママ・パパ向け】
現在の状況を考慮し、密を避け自宅や帰省先からも参加しやすいオンライン開催も継続して行います。
- ちょこっと育児体験【プレママ・パパ向け】
- あっぷっぶ【2~4か月の赤ちゃん和妈妈】*予約制
- ほっぷっぶ 公園あそびとのコラボなども開催
- 助産師と先輩ママたちみんなの知恵袋*予約制
- どろっぶ
毎月1回どろっぶ・サテライト交互に開催【パパ向けプログラム】
- 外国につながるみんなのティータイム
毎月1回どろっぶ・サテライト交互に開催
- ふたごちゃん・みつごちゃんの会*月曜の休館日に開催
毎月1回どろっぶ・サテライト交互に開催。
- 土いじりの会(どろっぶ) 主に水曜日
- 庭いじりの会(サテライト) 第1土曜日

プログラム開催日は混雑が予想されます。ひろばの混雑状況はTwitterで配信。プログラムの様子などはInstagramで配信しています！
毎月のカレンダーはHP・インスタに掲載、館内にて配布します。



区役所からのお知らせ

- 歯つらつ1歳歯みがき教室 無料・予約制
歯は生えているみたいだけど、歯磨きどうしたらいいの？仕上げ磨きを嫌がって大変、むし歯予防どうしたらいいの？
- 乳幼児歯科相談 無料・予約制
むし歯ないかな？歯並び大丈夫？歯磨きどうやってすすめていくの？嫌がる歯みがきどうしたらいいの？本当に磨けているのかな？お口の心配ごとに歯科医師と歯科衛生士がお答えします。

申込：港北区福祉保健センター子ども家庭支援課
TEL: 045-540-2340 お電話でお申込みください。
※ご本人の申込のみ受付いたします。
※駐車場利用の際の減免は、1時間になります。

「歯つらつ1歳歯みがき教室」は、こちらのQRコードから申込できます。→



オープンガーデン港北のお知らせ

港北区では区民の皆さんが心を込めて手入れをしているお庭やコミュニティ花壇を巡るイベントで、毎年春に開催しています。

どろっぶ・サテライトでは企画Bで参加予定です。
企画A：お庭・花壇の動画撮影と公開~おうちでガーデン散策~
動画公開期間は令和3年4月中旬から順次公開
企画B：お庭・花壇の現地公開~まちなかお庭散歩~

サテライト：4月13日(火曜日)から5月23日(日曜日)
どろっぶ：4月14日(水曜日)から5月22日(土曜日)
期間中の開館日。
9:30~16:00(状況に応じて変更になります)

https://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/shokai/bunkakanko/opengarden.html
今年もボランティアさんと準備をすすめています♪お楽しみに！



土曜日両親教室

お仕事などで平日両親教室に参加できない方々のために、港北区で初めて出産する方を対象とした講座を開催します。申し込み多数の場合は抽選です。

開催時間：10:00~11:15(時間短縮開催中)
詳細・お申込みはどろっぶHPから
http://www.kohoku-drop.jp/publics/index/43/

毎月開催 予約のプログラム

子育てサポートシステム
まずは入会説明会にご参加ください
お申込みはHPから

(予約受付は開催日のひと月前の9:30~ ※休館日の場合は翌開館日)
午前・午後 それぞれ2回に分けて少人数で開催中
※本部が変更になっています。お問合せは港北区支店まで 547-6422

●子育てサポートシステムは子どもを預けたい人と預かる人が会員登録し、お子さんを預かる地域の助け合いのシステム



お知らせ ひろばのプログラムはHPをご覧ください(どろっぶ・サテライトで紙版も配布しています)

ひろばにフリーWi-Fiが入りました♪
どろっぶ・サテライトのひろばにフリーWi-Fiが設置されました。これではひろばでココアプリのインストールができる!!ちょっと見てみて。というお知らせもスマホでチェックしやすくなりました。このひろばのWi-Fiを活用して、4月からはひろばからのオンライン企画も計画中です。

これがあれば、こんなこともできます!!
のアイデアも募集中です♪みんなで新しい活用を探して活動の幅を広げましょう♪



ひろばの利用方法について

- 現在新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
- ・開館日時：火曜日~土曜日9:30~16:00
休館日：日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
*隔月1回日曜開館あり(日曜開館の翌火曜は休館日)
- ・利用は最大30組で入館制限となります。
(お庭・預かりなど除く)
- *混雑してきたら長時間滞在の方からお声がけさせていただきます。ご協力をお願いします。
- ・「初めて利用」の方は開館中随時利用可能。受付でお声がけください。
- ・水分補給はOKですが、食事は時間限定。
※状況に応じ、変更の場合はHPに掲載します。

港北区地域子育て支援拠点

どろっぶ
港北区大倉山 3-57-3
TEL045-540-7420
東急東横線大倉山駅徒歩10分。
または市営バス 41 系統川向町行き『観音前』下車すぐ。

開館日時：火曜日~土曜日9:30~16:00
休館日：日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
*隔月1回日曜開館あり(日曜開館の翌火曜は休館日)

どろっぶサテライト
港北区綱島東 3-1-7
TEL045-633-1078
東急東横線綱島駅北口徒歩10分。

開館日時：火曜日~土曜日9:30~16:00
休館日：日曜日・月曜日・祝日・年末年始・特別休館日
*隔月1回日曜開館あり(日曜開館の翌火曜は休館日)

横浜子育てサポートシステム 港北支部事務局
TEL045-547-6422(直通)
大倉山どろっぶ 受付：火曜日~土曜日 9:00~17:00

港北区地域子育て支援拠点は、NPO法人びーのびーのが、横浜市港北区から受託して運営しています。

子育て応援 ココアプリ

「岩崎学園情報科学専門学校」×「港北区役所」×「港北区地域子育て支援拠点どろっぶ」共同開発情報を受け取りやすく、より便利に。ココにひとつに「ココアプリ」

ダウンロードはQRコードまたはどろっぶHPから★



横浜子育てパートナー

子育てをしている方、そのご家族や妊娠中の方が悩みをどこに相談していいかわからないとき、子育て支援の情報を知りたいとき・・・「横浜子育てパートナー」が相談者の気持ちに寄り添い、必要な情報を調べたり適切な支援機関を紹介します。匿名での電話相談もできます。
受付 火曜日~土曜日 9:30~16:00
横浜子育てパートナー専用電話番号
大倉山：045-547-1180
綱島：045-547-1182



あっとどろっぴ

2021年
4月最終号
vol.164

港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から未就学児・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

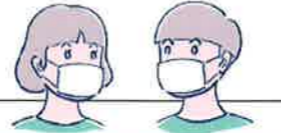
http://www.kohoku-drop.jp/ Check our website for the schedule in English
Instagram更新してます！大倉山どろっぴ @drop_ookurayama 網島サテライト @drop_tsunashima
monaka & MOMO (ボランティア) @monakamomo_drop



2020年度 港北区地域子育て支援拠点どろっぴ・どろっぴサテライト 利用者アンケート結果

みんなで振り返る
コロナ禍での育児

実施期間：2020年12月～2021年1月
回答数：313(大倉山：143/サテライト：170)



利用者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。みなさまからいただいた貴重なご意見は、今後の運営に活かしていきたいよう、スタッフ、港北区役所、関係機関、そして利用される皆さんと一緒に、検討する際の参考情報とさせていただきます。

Q；どろっぴ or どろっぴサテライトの利用頻度はどれくらいですか？

最も多かったのが月1～3日で35.5%、次に週1～2日が33.2%でした。

昨年と比較すると、**利用頻度の二極化**が見られ、ほぼ毎日(+1.8%)が増加し、2か月に1回(+2.1%)年に数回(+1.4%)と利用頻度の少ない層も増加しました。

Q；どのようなときに行きますか？(複数回答 昨年比 ±5%超項目を色づけ)

項目	割合	昨年比
子どもを遊ばせたいとき	65.6%	-10.6%
予定がないとき	56.6%	-6.6%
子どもの体調や機嫌を見て行けそうとき	33.1%	6.3%
天候が良いとき	20.2%	-4.0%
すいていそうとき	19.9%	8.2%
自分が誰かと話をしたいとき	17.2%	-11.4%
近くに用事があったときのついでに	12.3%	-1.2%
友だちに会いたいとき	11.3%	-8.2%
どろっぴに用事があるとき	7.9%	-6.8%
行く曜日を決めて	5.6%	1.7%
知りたいことがあるとき	4.0%	-0.8%

増加1位
減少1位

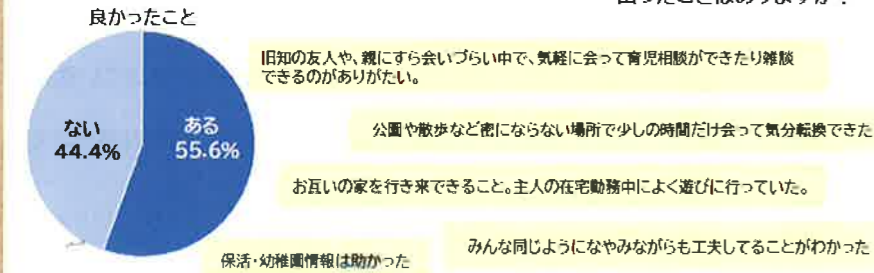
「どのようなときに行くか」、については昨年と大きな差が見られました。コロナ禍で、利用頻度や利用目的に考え方の違いが出ているのかもしれませんが、他の親子が、どれくらい外出しているのか、何をして過ごしているのかでさえ、分からないといった方もいるのではないのでしょうか。自分が誰かと話したい、子どもを遊ばせたいと思ったら、すぐに利用できる場所であることは、本来、どろっぴが大事にしたいと思っています。

いただいたご意見は今後のひろば運営に活かしていきます。ひろばの中で気づいたことは、些細なことだと思わず、スタッフに声をかけてください！



Q；新しい生活様式がはじまり、近隣の付き合いが良くなったことはありますか？

困ったことはありますか？



別の調査では、ひろばを週1回程度以上利用していると、ひろばから地域への繋がりがぶえるという結果もあります。これからも、どろっぴは、親子が気軽に話したり遊べる場や機会を考えていきます。皆さんのアイデアがあれば、ぜひスタッフにお声がけください。



コロナ禍で、物理的な距離を感じる1年だったと思います。家が近いからこそその良さ、難しさ。それぞれ工夫しながら、試行錯誤していたようです。こんな迷いも、もっとみんなで話せるといいですね。一方で、家の中から外へ繋がるオンラインでの交流。実はどろっぴでは以前から、「産後間もないママパパにどうやってどろっぴを知ってもらうか」を考えていました。今や当たり前のようにZoomなどでの講座も行われるようになってきています。これを機に、産後間もなく家から出られなくても、地域とつながる機会を増やしたいと考えています。



さらに詳しい報告はどろっぴ HPに掲載しています。ぜひご覧ください。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

4か月健診アンケート

よりよい子育て支援を考えるために、港北区で子育てをしている4か月児を持つ皆さまへ、妊娠中から産後にかけてのサービスの利用について4か月健診時にアンケートにご協力いただきました。毎年恒例のアンケートですが、今年は回収率が過去最高の95%超。たくさんの方の貴重なご意見ありがとうございました。今後の取組に活用させていただきます。

コロナ禍における産前サービスの利用は軒並み減少。
*にんしんあんしんリーフレットが役に立った人は7.9%(昨対比-14.6%)
産前イベントが中止になったため、情報が使えなかった様子。
*両親教室利用については、区、拠点/地域CP両親は中止が相次いだ。が、昨年度利用の多かった産院開催も中止となっていた模様
昨対比区；-14.0%、拠点/地域CP；-9.6%、産院；-28.2%
複数利用を考慮しても、約3～4割の家庭が産前両親教室利用の機会を損失していた可能性があります。

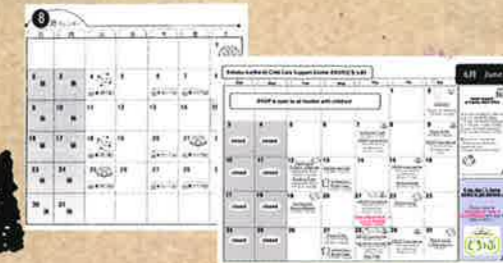
里帰りなしでの親族手伝いはおおむね減少、親族が一定期間滞在する家庭が45.3%(昨対比-13.9%)と減少し、子の親だけ(夫婦2人)での育児が22.4%(昨対比4.1%)と増加。産後のサポートが必要な時期に、満足な親族サポートが得られなかったようです。

相談ツールとして、対面(34.5%)を抜いてSNS(37.2%)が1位に。SNSニーズは昨年と比較しても11.8%増加しており、フリーコメントにもZoomなどのオンラインツールを期待する声がありました。コロナ禍をきっかけに、今後の相談支援の在り方を再考する必要性があると感じ、メールでの相談受付、4月よりオンラインでの相談もスタートします。

パパが在宅勤務の日がたまにあり、休日も増え、家にいてくれるだけでも気が楽になる(サポートしてもらえ)。テレワークがもっと進んでほしい。パパが在宅ワークになったことで家族の時間が増え幸福度が上がった。という声もありました。



あっとどろっぴの歴史



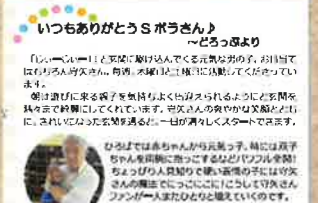
月々のスケジュールはカレンダーでお知らせがスタートしたのはこのころ
2012年は英語版も創刊しました！
印刷したatどろっぴはひろばでみんなで折り作業。

2006年5月創刊！ どろっぴ開館の年にatどろっぴも創刊。

靴下プロジェクトのご報告、そしてこれから…

「被災地に靴下を送らない？」ヒーのヒーのスタッフの一通のメールから始まった「靴下プロジェクト」。今回の大震災で被災された方に、何かできないか、何か送れないか、という思いを抱いていたひろばのみんなに伝えて、2日間で集った靴下は2000足にもなりました。友達から頂いたので、何か出来ないかと思って、そんなことだったら私にもできる、と靴下を持ってきてくれた方、仕分けを手伝ってくれた方、靴下につけるメッセージを書いてくれた方・・・無事に、3月23日(水)に、このプロジェクトを企画した「日本ユニバーサルデザイン研究所」に、皆さんからお預かりした靴下とそれにこめられた思いを届けることができました。本当にありがとうございました。
いま、被災された方はどんな思いでいるんだろうと考えると、メッセージを書くのに迷う場面もありました。「『頑張って』っていう言葉は、今かけられら辛いかな」「でも本当に頑張っているよね、被災地のみんなが」「オムツやミルクはどうしているんだろう」「寒いんだろうね」・・・同じ子育てをしている家庭が、いま思いを寄せていると思うと、もっと何かできることがないかな、もっと必要なものはまだあるかな、とも思いました。「また靴下を集めようか?」「絵本やおもちゃは送れませんか?」という皆さんの気持ちは嬉しいほど伝わります。ただなんといってもこの未曾有の大震災、復興までにはかなり長い時間がかかると思います。だからこそ、長期的に支援していく姿勢も必要、支援も義理金、物資提供以外にも様々な方法があるでしょう。
まずは今回の大震災を決して忘れないこと、一人じゃないよっていうエールを送り続けること、そこから始めてみましょう。そして、これから何ができるのか、子育て家族の私達に何ができるのか・・・を皆さんと一緒にどろっぴも考えていきたいと思います。

Sボラ・親子ボラ(としよがかり)による オススメ絵本記事も好評でした。



3.11の震災のときには「靴下プロジェクト」に取り組みました あれから10年。いまでも陸前高田市の「きりりんきつず」さんとつながっています♪



Sボラ(素敵でスーパーでSpecialなボランティアさん)の紹介記事の連載を2018年5月～スタート
あっとどろっぴを見た方から、「わたしもボランティアしたい!」とお問合せを何件もいただき、新たにボランティアとして活動してくれる方が増えました。みなさんの素敵な姿がたくさんの方に響いて好評の記事でした♪取材協力いただいたSボラさんありがとうございます!

今号をもって、定期発行は終了となります。「毎月楽しみにしていた」との声もいただいて、少し名残り惜しいですが、秋にはHPも改訂予定!今後は季刊誌として年数回、地域にどろっぴの近況をお伝えします。毎月のカレンダーはHPに掲載、館内に配布します。

これからもどうぞ
よろしくお願いたします♪

サテライトができあがり大幅改訂。
2016年にはあっとどろっぴがフルカラーに★

